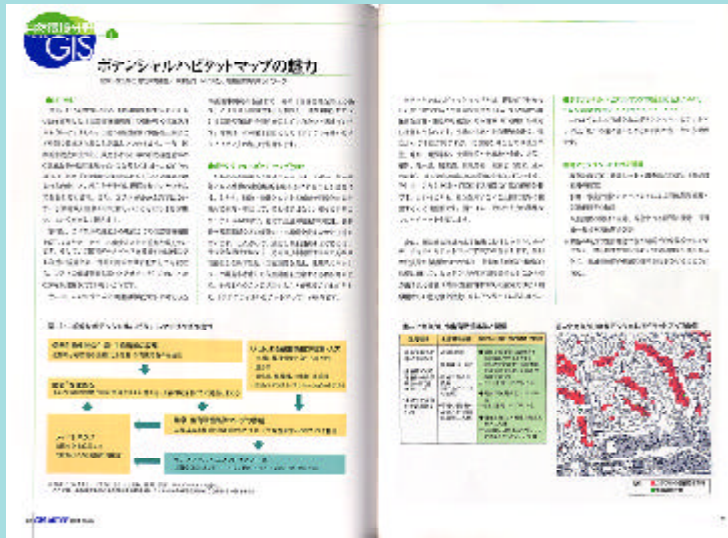


BOOKS

地理、GISと空間情報の専門誌

GIS NEXT に連載中



自然環境分野におけるGIS

連載企画：(株)地域環境計画 / 執筆協力：NPO法人地域自然情報ネットワーク

近年、GISの普及に伴い、自然環境の分野においても、GISを活用した「自然環境情報図」の類が多く作成されるようになりました。一方、国際的な視点に立つと、残念ながら日本の「自然環境情報のGIS化とその活用」は遅れていると考えられます。GIS化が遅れたのは「どのように活用するのか」、「どんな効果が得られるのか」ということが十分に理解されていないからではないでしょうか。また、「コストがかかるのではないか」という声も聞きます。しかし、私はまず、全国の過去から現在までの自然環境情報をGISによりデータベース化することが重要であると考えています。GISでデータベースを構築すれば、情報の開示や共有化にとっても役立ち、コストの縮減効果も期待できるからです。

現在、弊社ではNPO法人地域自然情報ネットワークの執筆協力を得て、専門誌「GIS NEXT」に「自然環境分野におけるGIS」を全8回の予定で連載しています。

この中で、自然環境分野におけるGISの活用事例紹介を通じて、その「自然環境保全上の効果」と「コスト削減効果」を検証し、自然環境分野におけるGISの有効性を明ら

かにしていきたいと思えます。

日本の野生生物が絶滅の危機にさらされてしまった要因の一つは、生態系を「空間システム」として上手に捉えることができず、適切なランドデザインが出来なかったことではないでしょうか。これからは、GISによる自然環境情報図などが、自然と共生する地域づくりに欠かせないものになると考えています。

(副社長・逸見一郎)

GIS NEXTとは

GISを核にした空間情報利用の最新動向にスポットを当てるとともに、そこから空間情報社会に向けた「次」のトレンドを映し出すアクティブなインテリジェンスマガジンを目指す雑誌です。

発行形態 季刊 (1,4,7,10各月10日発行)
判型 A4定型 平綴じ カラー
発行 株式会社クリエイト・クルーズ

第1回 (第7号 2004年4月10日発行)

ポテンシャルハビタットマップの魅力

ポテンシャルハビタットマップとは?

ポテンシャルハビタットマップの活用方法について

- ・とても便利なポテンシャルハビタットマップ
- ・環境アセスメントにおける活用 / 自然再生における活用
- ・生態ネットワーク計画、緑の回廊づくりにおける活用

第2回 (第8号 2004年7月10日発行)

環境ベースマップを使いこなす - 環境アセスメントへのGISの活用 -

環境アセスメントに不可欠なベースマップ

環境アセスメントベースマップとは

環境アセスメントベースマップの構成と具体例

ベースマップの応用事例

第3回 (第9号 2004年10月12日発売予定)

環境ベースマップを使いこなす - 環境類型区分図の作成とアセスへの活用 -

環境類型区分図とは / 環境類型区分図の作成方法

環境類型区分図の読み方

GIS NEXT 自然環境分野におけるGIS - これまでの掲載内容 -